

地区連・宮城県事務局便り

今シーズンは大寒波が襲来し降雪も多く連日の真冬日で水道管が凍結破裂したりと日常生活に難儀されているのではないのでしょうか。

さて、一年半ほど前から「昭和レトロ」がブームとなり、その代表格が西武園ゆうえんちなのです。昭和レトロをテーマにリニューアルしチケットの売上が、なんと13倍になったとか。

儲かる昭和メソッド。令和の時代に昭和の手法が再び注目されているそうですよ。

この好機が、我が看板業界にも押し寄せてくる気配が：ネット広告の時代に数十か所の野立て看板だけで宣伝して売上が倍増になった歯科医院。その屋外広告物とは、黒色をバックに文字は黄色で表示、女性受けが良いピンク色をバックに院長の大きな顔写真を載せ、見た人の目をくぎ付けにインパクトを与え、看板の設置は1kmおきに連立させアピールする。これで宣伝効果ガッチリだそうですよ。

屋外広告物を上手に活用してくれる人が増えて、我が屋外広告業界もより一層、令和5年の卯年にピヨーンと飛び跳ね益々発展飛躍の年となりますよように！ 本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務局員 秋葉久美

昨年も変わらぬお力添えを頂戴しまして大変有難うございました。

また、「コロナ禍で中止してしまっていた地区連事業も青森県の皆様のご担当により、3年ぶりに昨年対面開催が復活し、嬉しい再開の機会が今年もまた増えそうです。

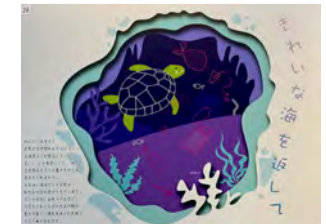
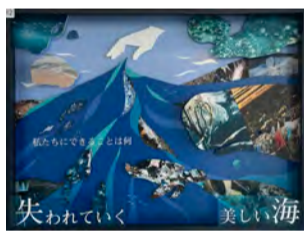
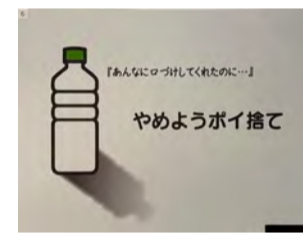
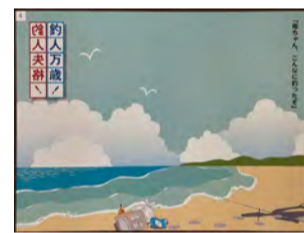
さて、先日、久々に東京の息子からのライン着信が：「誕生日おめでとうー！私」：「ありがとう。お祝いメール早くない？年取るの明日だけどなあ」と返すと、「あと、2時間。もはや変わらないうしよー」と息子。

『まあね...』気分的には微妙に違うかな、との言葉を飲み込むも息子からの連絡はやっぱり嬉しい。

最近娘に会う時以外は母の顔を忘れ、時に妻の顔をも忘れるといつの日か。年に一度、様々な「おめでとう」に心躍りつつも普段忘れていた自分自身を再確認しているような気がします。

まずは、コロナ禍で会えずにいる母に力を与え、今度息子と会った時に「いつもの母だねー」と安心してもらえるように、浅い呼吸で突っ走ってしまつた昨年を反省し、ゆつくりと深呼吸をしながら、気持ち新たにこの1年を過ごしたいと思ひます。皆様、今年も宜しくお願致します。

事務局長 高橋ちよ子



編集後記

今回、東北6県公共キャンペーン作品展開催でき、作品を掲載できますこと大変うれしく思います、そして4年ぶりの東北大会総会3月10日青森での開催、皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

コロナ発生から4年目そしてウクライナ戦争での影響で物資や資材高騰、社会の在り方、経済活動のシステムが激変しております。パソコンでのデザイン・ネットでの売買は当たり前、リモートでの会議等々、目まぐるしく進化してゆく中で、屋外広告業界を取り巻く環境においても、それに対応できなければ取り残されていく状況にあります。

私も70歳を過ぎ取り残されて行く一人です、後は若い人にお任せですねよろしく！ そんな中パソコンを使いこなせる人を見ると羨ましくなります。

木村さん機関紙今年も宜しくお願致します。

啓発事業委員長 石井 正幸
編集・製作 木村 光徳